

スコアシート		基本設計段階								
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体				
		<b>Q 建築物の環境品質</b>								
<b>Q1 室内環境</b>			0.40		-					<b>3.6</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.1</b>	1.00					<b>3.1</b>
1.1 室内騒音レベル	-	3.0	0.50	3.0	0.50					
1.2 遮音		3.0	0.50	3.3	0.50					
1 開口部遮音性能	-	3.0	1.00	3.0	0.30					
2 界壁遮音性能	界壁の壁厚を180mm以上とし、木下地二重壁によりDr-50を確保	-	-	4.0	0.30					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	-	3.0	0.20					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	-	3.0	0.20					
1.3 吸音	-	-	-	-	-					
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.6</b>	0.35	<b>4.0</b>	1.00					<b>3.9</b>
2.1 室温制御		3.0	0.50	4.0	1.00					
1 室温	-	3.0	0.63	-	-					
2 外皮性能	日本住宅性能表示基準「断熱等性能」等級4である	3.0	0.38	4.0	1.00					
3 ゾーン別制御性	-	-	-	-	-					
2.2 湿度制御	-	1.0	0.20	-	-					
2.3 空調方式	-	3.0	0.30	-	-					
<b>3 光・視環境</b>		<b>1.6</b>	0.25	<b>3.7</b>	1.00					<b>3.5</b>
3.1 昼光利用		1.8	0.30	3.4	0.50					
1 昼光率	住戸部分は2.0%≤昼光率	1.0	0.60	5.0	0.50					
2 方位別開口	-	-	-	1.0	0.30					
3 昼光利用設備	-	3.0	0.40	3.0	0.20					
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.50					
1 昼光制御	住戸部分は底(バルコニー含む)設置、かつカーテンレールを設置	2.0	1.00	4.0	1.00					
3.3 照度	-	2.0	0.15	-	-					
3.4 照明制御	-	1.0	0.25	-	-					
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00					<b>3.6</b>
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63					
1 化学汚染物質	建材はJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	4.0	1.00					
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38					
1 換気量	-	3.0	0.50	3.0	0.33					
2 自然換気性能	-	-	-	3.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮	-	3.0	0.50	3.0	0.33					
4.3 運用管理		-	-	-	-					
1 CO <sub>2</sub> の監視	-	-	-	-	-					
2 喫煙の制御	-	-	-	-	-					
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-					<b>3.4</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.8</b>	0.40	<b>4.2</b>	1.00					<b>4.1</b>
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60					
1 広さ・収納性	-	-	-	-	-					
2 高度情報通信設備対応	各住戸で1Gbitのブロードバンドが利用可能	-	-	5.0	1.00					
3 バリアフリー計画	-	3.0	1.00	-	-					
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40					
1 広さ感・景観	-	-	-	3.0	0.50					
2 リフレッシュスペース	-	-	-	-	-					
3 内装計画	-	3.0	1.00	3.0	0.50					
1.3 維持管理		2.5	0.30	-	-					
1 維持管理に配慮した設計	-	3.0	0.50	-	-					
2 維持管理用機能の確保	-	2.0	0.50	-	-					
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.1</b>	0.30	-	-					<b>3.1</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-					
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-	3.0	0.80	-	-					
2 免震・制震・制振性能	-	3.0	0.20	-	-					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30	-	-					
1 躯体材料の耐用年数	住宅性能表示制度 構造躯体劣化等級3を取得予定	5.0	0.20	-	-					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	-	2.0	0.20	-	-					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	-	3.0	0.10	-	-					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	-	3.0	0.10	-	-					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:PEP(B)、汚水排水及び雑排水:VP(B)、Eは不使用	5.0	0.20	-	-					
6 主要設備機器の更新必要間隔	-	2.0	0.20	-	-					
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-					
1 空調・換気設備	-	3.0	0.20	-	-					
2 給排水・衛生設備	-	3.0	0.20	-	-					
3 電気設備	-	3.0	0.20	-	-					
4 機械・配管支持方法	-	3.0	0.20	-	-					
5 通信・情報設備	-	3.0	0.20	-	-					

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>2.8</b>	1.00	<b>2.8</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>				-	<b>2.6</b>	0.50	
1 階高のゆとり	-			-	<b>3.0</b>	0.60	
2 空間の形状・自由さ	-			-	<b>2.0</b>	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>				-	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	1.00		-	
1 空調配管の更新性	-		3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性	-		3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性	-		3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性	-		3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性	-		3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保	-		3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.7</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>2.0</b>	0.30		-	<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30		-	<b>3.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-		<b>3.0</b>	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	-		<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-		-	<b>3.2</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.5</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10		-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		BEI=0.8、LED照明設備を導入している	<b>4.0</b>	0.50		-	<b>4.0</b>
集合住宅以外の評価				-		-	
集合住宅の評価			<b>4.0</b>	1.00		-	
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価				-		-	
4.1 モニタリング	-			-		-	
4.2 運用管理体制	-			-		-	
集合住宅の評価			<b>3.0</b>	1.00		-	
4.1 モニタリング	-		3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制	-		3.0	0.50		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.7</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>2.2</b>	0.20		-	<b>2.2</b>
1.1 節水			<b>1.0</b>	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無	-		3.0	1.00		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無	-		-	-		-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.7</b>	0.60		-	<b>2.7</b>
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている	4.0	0.20		-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.3</b>	0.20		-	<b>3.3</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用		PRTR法の対象物質を含有しない建材種別が1つある	<b>4.0</b>	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.0</b>	0.70		-	
1 消火剤	-		-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)	-		3.0	0.50		-	
3 冷媒	-		3.0	0.50		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		LCCO2排出率77%	<b>3.9</b>	0.33		-	<b>3.9</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>2.9</b>	0.33		-	<b>2.9</b>
2.1 大気汚染防止			<b>3.0</b>	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>3.0</b>	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>2.7</b>	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減	-		3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制	-		3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制	-		3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制	-		2.0	0.25		-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.2</b>	0.33		-	<b>3.2</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40		-	
1 騒音	-		3.0	1.00		-	
2 振動	-		-	-		-	
3 悪臭	-		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			<b>3.0</b>	0.40		-	
1 風害の抑制	-		3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制	-		1.0	-		-	
3 日照阻害の抑制	-		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			<b>4.4</b>	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光源は総合効率の高いものを選択、広告物照明を行っていない	5.0	0.70		-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-		3.0	0.30		-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
<b>Q2 サービス性能</b>															
1.2.3 内装計画	2.0	2.0	-	-	○	○	-	-	○	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	4.0		-	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	3.0		-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-							
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	1.0	-	○	-	-	-	○	-						
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	-	○	-	-	-							
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>															
1 生物資源の保全と創出	5.0		-	-	2.0	-	-	-	1.0	-	1.0	1.0	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	1.0	-	-	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	7.0		-	1.0	-	2.0	-	-	-	2.0	2.0				
<b>LR1 エネルギー</b>															
2 自然エネルギー利用	1.0		-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	1.0		1.0	-	-										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-	-	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	1.0														
<b>LR3 敷地外環境</b>															
2.2 温熱環境悪化の改善	12.0		1.0	-	-	3.0	2.0	-	-	2.0	3.0	1.0			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	-	1.0	-	-								
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		-	-	1.0	-		1.0	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0											

### 主な指標

#### Q1 室内環境

##### 2.1.3 外皮性能

窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) -

U値(W/m<sup>2</sup>K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 -

住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 0.8 η AC 2.3 η AH -

昼光率 0.0%

自然換気有効開口面積率 3.3%

##### 3.1.1 昼光率

##### 4.2.2 自然換気性能

#### Q2 サービス性能

##### 1.1.1 広さ・収納性

執務スペース 6.0m<sup>2</sup>/人 病床 8.0m<sup>2</sup>/床 シングル 15.0m<sup>2</sup> ツイン 22.0m<sup>2</sup>

##### 1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量 - VA/m<sup>2</sup>

##### 1.2.1 広さ感・景観

天井高 - m

##### 1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース 0.5% レストスペース 2.0%

##### 2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数 - 年

##### 2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔 - 年

##### 2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔 0 年

##### 2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔 - 年

##### 3.1.1 階高のゆとり

階高 3.2 m

##### 3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率 20.0%

##### 3.2 荷重のゆとり

床荷重 4000 N/m<sup>2</sup>

#### Q3 室外環境(敷地内)

##### 1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数 - 建物緑化指数 -

##### 3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率 - 水平投影面積率 - 地表面対策面積率 - 舗装面積率 -

#### LR1 エネルギー

##### 1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI<sub>m</sub> - 断熱性能等級 等級4 相当

##### 2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量 - MJ/年m<sup>2</sup> 採光を満たす教室数 - 採光を満たす住戸数 -

通風を満たす教室数 - 通風を満たす住戸数 -

太陽光 - 太陽熱等 - 蓄電池 -

##### 3 設備システムの効率化

##### 非住宅部分

BEI/BEI<sub>m</sub> 再エネ有 - 無 - オフサイト再エネ有 - -

##### 集合住宅の評価

一次エネ削減率 再エネ有 20% 無 20%

#### LR2 資源・マテリアル

##### 1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率 -

##### 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -

##### 2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率 -

##### 3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP) - 地球温暖化係数(GWP) -

##### 3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP) - 地球温暖化係数(GWP) -

##### 3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP) - 地球温暖化係数(GWP) -

#### LR3 敷地外環境

##### 2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比 15% 隣棟間隔指標R<sub>w</sub> 1.90

地表面対策面積率 39.6% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 0.0%

見付面積S<sub>b</sub> 1,511m<sup>2</sup> 卓越風向と直交する最大敷地幅W<sub>s</sub> 98.11 m 基準高さH<sub>b</sub> 9.79 m

緑地 434m<sup>2</sup> 水面 m<sup>2</sup> 保水性対策面 m<sup>2</sup> 高反射対策面 m<sup>2</sup> 再帰性反射対策面 m<sup>2</sup>